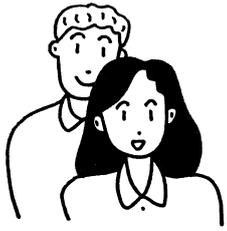


今日12月8日は64年前、日本が太平洋戦争に突入した日です



「二度と戦争はしない」—— この誓いを新たにがんばります

アジアで2000万人、日本で310万人の犠牲者を出した戦争の反省のうえにつくられたのが憲法9条でした。「戦争のない世界」をつくる先駆けになろう——この誓いは、いま国際政治の大きな流れになろうとしています。

日本共産党

武力ではなく外交で解決する動き がアジアでも広がっています

紛争の平和解決、武力行使禁止をうたった「東南アジア友好協力条約」には、ASEAN10カ国のほか日本、中国、

韓国をはじめ世界人口の53%が参加。この地域に平和の共同体を展望する取り組みとして発展しています。

「戦争のない世界へ」のさきがけ となったのが憲法9条です

ことし、世界180カ国のNGO（非政府組織）が国連につどい、戦争や紛争を予防するためにどう協力するかと

いう会議が開かれました。その会議の宣言で、日本の憲法9条が“平和の土台”として高く評価されました。

憲法9条を捨て “海外で戦争する国” に変えていいのでしょうか

自民党は憲法を変えて、自衛隊を正式な軍隊にしようとしています。そのねらいは、世界の平和の流れに逆行し、

アメリカの要求にこたえ、イラク戦争のような無法な戦争に武力を使える「日本軍」を参加させたいからです。

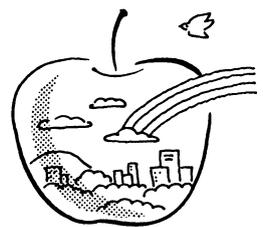
この戦争で、アジアで2000万人以上、
日本で310万人が犠牲になりました。



憲法9条をまもり、 平和をきずく大きな力に

日本共産党埼玉県
くらし福祉対策責任者

すみこ
あやべ澄子



「しんぶん赤旗」をお読み下さい
日刊●月2900円／日曜版●月800円
申し込みはTEL.048-658-5551

新埼玉

2005年12月号外 発行／日本共産党埼玉県委員会
さいたま市大宮区北袋町1-171-1

日本共産党埼玉県委員会の見解を紹介します。